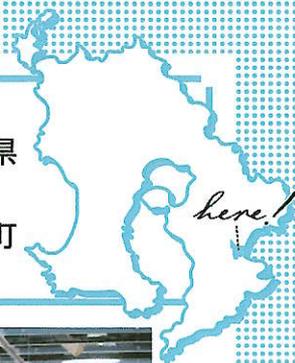


住民と行政の架け橋に。地域に溶け込む新しい物産館のカタチ

東串良町物産館 ルピノンの里

【ひがしくしらちょうぶっさんかん るびのんのさと】

鹿児島県
肝属郡
東串良町



Higashikushira Town

採れたての新鮮野菜や果物、農畜産物や加工品がずらり。町内外からの出荷者は160名以上で、まさによりどりみどりの品揃えが自慢です。

自治体の垣根を超えた地域拠点 東串良町から大隅半島を元気に

国道220号線に建つ〈東串良町物産館 ルピノンの里〉。町花でもあるルーピンの花をイメージした鮮やかな黄色の円柱形の塔が目印で、町のシンボリックな存在です。店内に一步足を踏み入ると、町内の農畜産物やそれらを使った加工品、地元の人たちが手作りする布製品や木工細工など様々なアイテムが所狭しと並びます。

令和6年の創業20周年を前に指定管理業務を請け負うことになったのは、大隅半島の地域活性化に取り組む株式会社

モエノバ。代表の黒川かおりさんは「自治体は違えど共通の課題を抱えていたり、また相互の問題を同時に解決できる術があったりします。町や市の垣根を超えた課題解決や交流の場として、地域の方たちと和やかに交わる場でありたいですね」と話します。生産者や買い物客の賑やかな会話が絶えない明るい社交場。新しい物産館のカタチは地域の人達の日常に溶け込み始めています。

東串良町物産館 ルピノンの里

生産者や地域の飲食店などが代わるがわる納品に訪れます。ついでに近況報告やちょっとした悩みごとの相談も。「地域住民と行政の橋渡しの存在になれていたらいいなと思いますね。納品される品物はどれも魅力的なものばかりで、ふるさと納税の返礼品候補が次から次に出てきて困っています(笑)」と黒川さん。



施設内の加工場でつくる

惣菜や弁当も人気

キラリと光る返礼品候補たち

魅力的な商品が次々に入荷

物産館の中には衛生管理の行き届いた加工場を完備。「地域の野菜や肉、魚など、新鮮さがウリの物産館ですが、どうしても完売に至らない場合があります。廃棄になる前の食材を惣菜などに加工することで、調理の提案やフードロスの削減にも取り組んでいます」。惣菜の種類は日によって異なるので、繰り返し足を運ぶ楽しみも。

意外な食材の組み合わせで、思いがけない新商品が生み出されることも。



東串良物産館 ルピノンの里

〒893-0000
鹿児島県肝属郡東串良町池之原2608-1

TEL/0994-62-8701



ホームページ

発行:東串良町役場 企画課 ふるさと納税担当

〒893-1693 鹿児島県肝属郡東串良町川西1543
TEL/0994-63-2630 FAX/0994-63-3138



左/黒川 かおりさん・右/田中 幸積さん

東串良町で生花店を営む田中さんは、10年来の付き合いがある黒川さんからの声掛けて館長に就任。館内の一部で生花のアレンジメント等を手掛けながら、商品管理や販促ツールの作成など多岐に渡る業務をこなします。